

小学部第4学年 音楽（Bグループ）学習支援案

1. 単元名 「えんそう会をしよう」

2. 日時と場所 平成〇〇年〇〇月〇日（〇） 〇〇：〇〇～〇〇：〇〇 音楽室 〇年〇組教室

3. 本時における個人目標

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん
○見通しをもって、落ち着いて活動する。 ○楽器に合った動きを覚えてリトミックができる。 ○教師が指さす楽譜を見て正しい音階で鉄琴を演奏する	○見通しをもって、集中して落ち着いて活動する。 ○楽器に合った動きを覚え集中してリトミックをする。 ○教師が指さす楽譜を見て、正しい音階で演奏する。	○見通しをもって、集中して友達と楽しく活動する。 ○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。 ○伴奏の速さを意識しながら、1指で正しく演奏する。	○見通しをもって、積極的に友達と楽しく活動する。 ○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。 ○4本の指で伴奏に合わせ、正しく演奏する。	○見通しをもち、落ち着いて友達と一緒に活動する。 ○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。 ○伴奏の速さを意識しながら、4指で正しく演奏する。	○見通しをもち、落ち着いて友達と一緒に活動する。 ○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。 ○伴奏の速さを意識しながら、正しく演奏する。	○見通しをもって、主体的に友達と楽しく活動する。 ○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。 ○木琴で伸ばす音を意識して伴奏に合わせて演奏する。

4. 本時の流れ 「えんそう会をしよう」 ※支援について **環**：環境面への支援 **理**：理解面への支援 **技**：技能面への支援 **意**：意欲面への支援


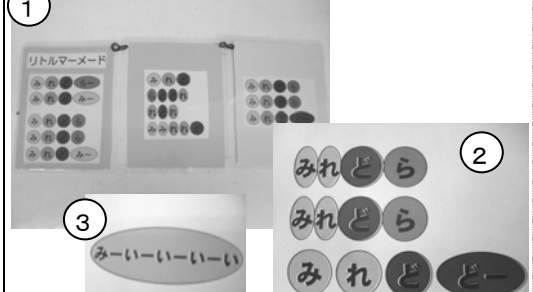

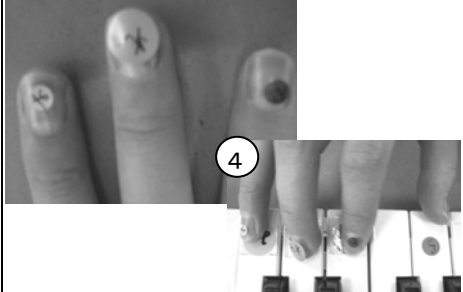

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん
1. 始めの挨拶をし、本時の学習を知る。						
理 本時の流れを、文字と絵で示し、MTは見えやすいように提示する。STは注目しやすいうように促す。						
2. 楽器の音に合わせてリトミックをする。						
環 適度な人数で一人ひとり集中して活動できるように、3回に分かれて行う。						
理・意 歩く・跳ぶ・回る・よつばいの4種類の動きをする。→						
理・意 動きが止まった時には、STが楽しい雰囲気ですらばで見本を示したり、声をかける。MTは目の前で楽器をならす。曲の切れ目で楽器をかえる。						
理・意 より集中して活動できるようにランダムに楽器をならし歩く・後ろ歩き・回る・よつばい・スキップ・ケンケンの6種類の動きをする。→						
理・意 動きと楽器の組み合わせを、絵と文字のカードで示し、自分で確認できるようにする。→						
理・意 できたことを確認できるように、自分から動けたことを賞賛し、状況に応じて声をかける。→						
理・意 動きが変更できていないときには、楽器が変わったことが気づけるような言葉かけをするようにする。→						
3. 「ジングルベル」の曲に合わせて2人組でダンスをする。						
理・意 始めに教師2人が見本を示し、振り付けを思い出せるようにし、やってみたいという興味をもてるようにする。→						
環 ペアの友達が分かり、スムーズにダンスを始めることができるように、隣同士で座るようにする。→						
意 サンタの帽子や衣装をつけて、楽しい雰囲気の中でダンスができるようにする。→						
理・意 できたことを確認し、自信が持てるよう賞賛する。→						
4. 「リトルマーメイド」のパネルシアターを見る。						
意 キャラクターや自分たちが演奏しているパネルを見て、楽器演奏への関心や意欲をもてるようにする。→						
5. 4年1組の教室に移動する。						
6. 「リトルマーメイド」の曲をMDに合わせて、楽譜を見ながら階名で歌う。						
理 音の長さをイメージしやすいように、MT、STと一緒に歌う。→						
環・技 原曲の速さよりゆっくりにするすることで、演奏しやすい速さに調整した曲で練習する。→						



Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん
<p>理・技音階がすぐに分かるように、鍵盤と楽譜の階名を同じ色で示す。4分音符は 8分音符は 全音符は というように、円の長さを変え、音の長さが分かりやすい楽譜を用意する。</p>						
<p>7. 最後まで演奏する。</p> <p>理・技叩く鍵盤が分かりやすいよう、使う音階の鍵盤のみ並べる。</p> <p>理始めや間違えやすい部分は、楽譜を指さしたり、階名を言ったりする。</p> <p>理伴奏とずれた時は、階名を言って速さを伝える。</p> <p>8. 友達の演奏を聴く。</p> <p>理パチはかごに入れる。</p>	<p>7. 友達の演奏を聴く。</p> <p>理 聞く時間ということが分かるように、おやすみカードで「スイッチ オフ」を示し、自分でスイッチを切るようにする。</p> <p>8. 伴奏に合わせて、キーボードで「リトルマーメイド」の曲を最後まで演奏する。</p>	<p>理 演奏カードで、スイッチオンを示す。</p> <p>理 分からなくなった時には、見本を示し、伴奏を意識できるようにする。</p>	<p>理・技 4本の指で弾けるように、鍵盤の色と同じ指輪をそれぞれの指につける。</p> <p>理「らどどれ」の部分は、教師が早めに次の鍵盤を指さしたり、階名を言ったりする。</p>	<p>理・意見通しがもてるよう演奏の回数をシールで示す。</p> <p>理・技 4本の指で弾けるよう分からなくなった時は、見本を示す。</p> <p>理 伴奏と速さがずれたら楽譜を示す。</p>	<p>7. 伴奏に合わせて、最後まで演奏する。</p> <p>意 鉄琴と木琴を選択して演奏する。</p> <p>理・意見通しがもてるよう演奏の回数をシールで示す。</p> <p>理 伴奏とずれた時は、階名を言ったり、楽譜を指さしたりする。</p> <p>8. 友達の演奏を聴く。</p> <p>理 聞く時間ということが分かるように、</p>	<p>理 始めや間違えやすい部分は、楽譜を指さしたり、階名を言ったりする。</p> <p>理 音の長さを意識できるように、教師がそばで階名を言って、音の長さを伝える。</p>
<p>9. [Bさん・Fさん] → [Aさん・Dさん・Eさん] → [Cさん・Gさん] の順番で最後まで演奏する。</p> <p>技・意 自分の演奏により集中できるように、少人数で演奏する活動を行う。</p> <p>環・理 始めに演奏する順番を書いた表を見ながら確認をし、見通しがもてるようにする。表は見える場所に置いておくようにする。</p>						
<p>10. 全員でCDに合わせて、最後まで続けて演奏する。(様子をビデオで撮影する)</p> <p>意 始めにビデオで撮影することを伝え、演奏への意欲を高める。</p>						
<p>11. C→A→C→Bグループの順番で演奏を録画したビデオを見て、学習を振り返り、頑張りを認め合う。</p> <p>環 事前にA、Cグループの演奏を撮影しておく。</p> <p>意 演奏を振り返り、満足感や達成感を味わい、友達と頑張りを認め合うことができるように、自分や友達の演奏を見る。</p>						
<p>12. 楽器の片付けをし、おわりの挨拶をする。</p> <p>環・理 楽器や楽譜を1人で片付けることができるように、かごやテーブルを決まった場所に用意しておく。</p>						

5. 評価

できた○ ○の中に、A…自分で、B…ことばだけで、C…指さし・ジェスチャーで、D…見本・実物を見せる、E…教師と一緒に、できない×						
Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん
○見通しをもって、落ち着いて活動する。	○見通しをもち、集中して落ち着いて活動する。	○見通しをもち、集中して友達と楽しく活動。	○見通しをもち、積極的に友達と楽しく活動。	○見通しをもち、落ち着いて友達と一緒に活動。	○見通しをもち、落ち着いて友達と一緒に活動。	○見通しをもち、主体的に友達と楽しく活動。
○音にあった動きを覚えてリトミックをする。	○音に合った動きを覚えてリトミックをする。	○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。	○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。	○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。	○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。	○動きを覚えて、リトミックやダンスをする。
○教師が指さす楽譜を見て正しい音階で演奏。	○教師が指さす楽譜を見て正しい音階で演奏。	○速さを意識しながら1本の指で正しく演奏。	○4本の指で伴奏に合わせて正しく演奏する。	○速さを意識しながら4本の指で正しく演奏。	○速さを意識しながら、正しい音階で演奏する。	○木琴で伸ばす音を意識し、伴奏に合わせ演奏

<支援ツール>

リトミックの楽器と動きのカード	楽譜	鍵盤のシールの色	階名のシール	階名の指輪
				
<p>○楽器の種類と、動きかたを見やすい位置に貼っておくことで、分からなくなったときには、自分でちらっと見て、動きを確認して、自信をもってリトミックができています。</p>	<p>①ど→赤、れ→桃、み→黄、ら→水色と、階名を色分けし、見てすぐ押す場所が分かる楽譜を、パートごとで台紙を色分けしています。 ②円の形が違うので、音の長さが分かりやすいです。 ③伸ばす音はタイミングがとりにくく、速く弾いてしまう児童もいたのですが、「みーいーいーい」と声に出しながらすると上手にできました。</p>	<p>○鍵盤にも、階名ごとに同じ色のシールを貼りました。</p>	<p>○階名ごとに違う指で演奏できるように、楽譜と同じ色の④シールを爪に貼ったり、⑤モールの指輪をつけたりしました。始めは難しかったのですが、少しずつ上手に指を動かすことができるようになって、4本の指でスムーズに演奏できるようになってきました。</p>	

キーボードの「おやすみカード」・「えんそうカード」	木琴・鉄琴のおやすみのかご
	
<p>⑥楽譜を読むときや、友達の演奏を聞くときは、「おやすみカード」を示して、自分でスイッチを切ることができるようになりました。 ⑦演奏する前には、カードを裏返して「えんそうカード」を示して、自分でスイッチを入れることができるようになりました。</p>	<p>○楽譜を読むときや、友達の演奏を聞くときは、かごを示して、ばちを入れるようになりました。</p>

